

## 水島製油所「溶剤脱れき装置(SDA)」の竣工について ～ 水島コンビナート地区における省エネルギー事業計画 ～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)の石油精製部門である新日本石油精製株式会社(社長:大野 博)水島製油所(所長:鳴瀧 宣夫)において、「溶剤脱れき装置(SDA: Solvent De-Asphalting、処理能力2万バレル/日)」が竣工しましたのでお知らせいたします。当社グループおよび旭化成ケミカルズ株式会社(社長:藤原 健嗣、本社:東京都千代田区 以下、旭化成ケミカルズ)、日本ゼオン株式会社(社長:古河 直純、本社:東京都千代田区 以下、日本ゼオン)は、水島コンビナート地区において石油残渣を利用した省エネルギー事業計画を進めております。

今般完成した、新日本石油精製水島製油所の「溶剤脱れき装置(SDA)」は、アスファルトなどの重質油留分から灯油、軽油などの軽質油留分の原料を抽出するものです。その際に発生する石油残渣物(SDAピッチ)は、旭化成ケミカルズと日本ゼオンが新たに建設中のボイラ設備の燃料として有効利用されます。これにより、従来ボイラ設備の燃料として使用していた重油等を削減し、省エネルギー化を図ります。

水島製油所においては、需要が減退している重質油留分の生産量を削減できるとともに、処理原油を調達コストの低い重質原油にシフトすることで、また、旭化成ケミカルズおよび日本ゼオンは、ボイラ燃料を石油残渣物に変更することで、コスト削減が可能となります。

以上



<溶剤脱れき装置(SDA)>

別添資料  水島製油所の概要 (PDF:64.7KB)